第4回「第3期桐生・みどり未来創生会議」開催結果概要

1 日 時 令和7年1月28日(火) 午後6時から午後7時19分まで

2 場 所 みどり市役所笠懸庁舎2階 第2会議室

3 出席者 委員 桐生市 : 荒木市長及び市民委員 5人(5人欠席)

みどり市:須藤市長及び市民委員 8人(2人欠席)

事務局職員 7人(桐生市:4人 みどり市:3人)

事業担当課 5人(桐生市DX推進室:3人 みどり市企画課:2人)

- 4 報道機関 2社(桐生タイムス、上毛新聞 計3人)
- 5 傍 聴 者 3人
- 6 会議内容
- (1) 開会
- (2) 両市長挨拶
- (3) 経過報告
 - ○第3回会議の開催結果について
 - ・事務局より第3回会議の開催結果概要について報告。
 - ○子どもの体験の機会の確保について
 - 事務局より提案に対する両市担当課の検討状況について報告。

(4) 議題

- ○電子地域通貨について
 - ・協議テーマについて、提案を行った委員から改めて趣旨を説明いただくとともに、 事務局から両市で実施している電子地域通貨事業の概要等の説明を行った。

【市民委員からの提案やご意見】

- ・市域を越えた電子地域通貨の利用を実現できると、利用者にとって便利である。
- ・「桐ペイ」と「みどモス Pay」の両方の加盟店となって、決済用の QR コード (二次 元コード) を会計場所に2つ設置してもらえれば、どちらかの市の電子地域通貨し か持っていない場合でも、両市で利用することができるようになるのではないか。
- ・両方の加盟店になると、決済処理や手数料が異なる現状では加盟店の手間などが増 えるので、条件の統一や事務の簡略化など事業者目線での検討が必要ではないか。
- ・誰の目線で、どのレベルまで連携に関して検討していくのか、しっかり整理することが必要ではないか。 など

【協議結果】

- ・お互いの電子地域通貨を両市の加盟店で使えることのメリットは大きいとの方向性 が確認された。今後は、委員の意見を踏まえながら両市事務局で様々な課題などを 整理し、実現の可能性について検討を進めていくことになった。
- 7 その他 次回の会議は、概ね3か月後の開催を予定。